

2014年神城断層地震 震災アーカイブ利活用の展開

信州大学教育学部 廣内研究室



2014年神城断層地震のデジタルアーカイブ



白馬村・小谷村・信州大学



課題：

誰のために、何を残し、どう使うのか

2014年神城断層地震震災アーカイブ

誰？ 地域住民

- 何？
- ・2014年地震 発災当時のありさま
 - ・復興期・復興期の地域再建プロセス
 - ・地域の災害史

当時の写真、体験談を動画で保存、インターネットで公開。
位置情報を付与、GIS上で管理したデータベース

どう使う？

住民主体の学びに活かす

- ・学校における**防災教育**の学び
- ・**生涯学習**を用いた地域住民への語り継ぐ学び
- ・**地域資源**として復興ツーリズムでの学び

下記、HPにて公開中

<https://kamihiro.shinshu-bousai.jp/>



2014年長野県神城断層地震 (2014年11月22日発生M6.7)

11月22日 22:08分頃 震度6弱：長野市，小谷村，小川村
震度5強：白馬村，信濃町

死者は生じなかったものの、建物・経済被害など地域へのインパクトは甚大

しかしながら、影響する範囲や社会的認知度から見れば、日本国内でもローカルな災害として位置づけられる。

こうした災害の被災地で被災記録を残すことの意義とは？

- ・対象：自ずと被災地域および県内
- ・手段：防災学習に資するコンテンツ作成→学校教育，地域防災，復興ツーリズムなどを通じた地域主体の活用の定着



誰のために、何を残すのか、どう使うのか

住民主体の学びに活かす 地域で活用し、継続していけるものを！

1. 学校教育での学び 学校における防災教育の学び

1. 白馬北小学校 6年生理科
 2. 白馬中学校 1年生総合学習
- ・アーカイブから当時の被災状況を知る。
 - ・アーカイブの看板から現地を当時と現在の姿を比較，被害や復旧過程を学び，発災時に自ら何をすべきか考え行動できる態度を育成。



2. 地域での学び

生涯学習を通じた経験の継承，自立的な運用・情報発信

- ・地域住民にアーカイブを活用した学習（座学・フィールドワーク）を実施。「語りべ」の育成。



アーカイブサポーターズによる
アーカイブの利活用と
自立的運用を目指した体制づくり



災害伝承の場づくり

3. 復興ツーリズムでの学び 語り継ぐための地域資源としての学び

- ・ツーリズムマップの作成，スノーピーク白馬と連携したセミナーおよび自転車ツアーの企画
- ・ガイドや語り部の派遣もこの活動とリンクさせ，学びの成果を結合，白馬の多面的な魅力発信に貢献



セミナーの様子 フィールドワークの様子 看板

・白馬村を訪れる観光客などに、オフサイト拠点（看板）などを観光資源と位置付けた復興ツーリズムを展開する。余暇を活用した学習型ツーリズムのニーズに対応した回遊プランを提案、今後社会科見学や防災研修も展開

1. 学校教育での学び—学校における防災教育の学び

(令和元年度) 震災アーカイブを活用した教育プログラムの実践。
小谷小6年生、白馬中1年生の総合的な学習の時間を活用した取り組みの実施

小谷・白馬の未来を担う子どもたちが、アーカイブで当時の被害の様子を学び、実際に体験した人に自らお話を聞く活動を通して、災害の恐ろしさと防災の大切さを学び、それを地域社会に発信する。

座学



アーカイブの中のアルバムやインタビュー動画をグループ全員で視聴



震災当時と現在の村の様子を比較し、地域社会の復興・復興の様子を理解する。またその課題などを考える

フィールドワーク



計画した場所に行き、写真撮影、撮影場所について地域で出会った人に当時の様子を知る。

成果発表



白馬中学校体育館にて発表
他学年や地域の人に向けても学習の成果を伝える

2. 地域での学び—震災アーカイブサポーターズ

第1回アーカイブサポーターズ養成講座

- 日時：令和3年7月15日（木）13：30～15：30 ウイング21
- 参加者数：山麓めぐりガイド受講者：13名

- (1) 神城断層地震、地震断層に関するビデオ学習
- (2) ワークショップ

- ①不安・心配な災害、具体的に不安・心配な事項は何か。
- ②過去に白馬地域であった災害は何か。
- ③自分で備えていること・備えた方がいいことは何か。



ビデオ学習の様子



ワークショップの様子

2. 地域での学び—震災アーカイブサポーターズ

(令和3年度) 白馬村公民館講座と連携し、山麓めぐりガイドの方々に、**アーカイブサポーターズ養成講座**を実施。アーカイブの活用や語り部の育成など、震災の経験や記憶を村民自らが引き継いでいくための仕組みづくり。

今年度の達成目標：

- ◇「山麓めぐり」にあたり、白馬の地形や過去の地震災害について学習し、自然環境と災害、**防災への関心を高める。**
- ◇過去の災害について**語り継ぐことの重要性**について学習し、その成果を発表する。
- ◇震災7周年に合わせて参加者が**成果を発表する**(ビデオ、ポスター展示など)

座学・ディスカッション



フィールドワーク



成果発表



令和3年度実施 全5回

- ・第1回目：ワークショップ&セミナー (7/15) ・第4回目：ツアーコース発表・まとめ (11/11)
- ・第2回目：フィールドワーク (9/30) ・第5回目：一般向け講演 (11/22)
- ・第3回目：熊本地震の事例学習・震災を伝えるツアーコースづくり (10/21)

2. 地域での学び—震災アーカイブサポーターズ

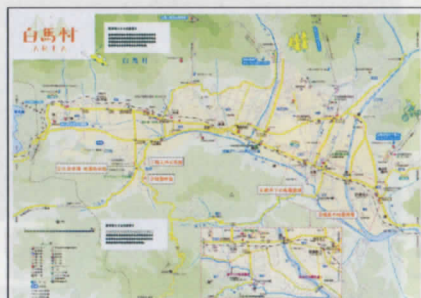
第1回アーカイブサポーターズ養成講座

(3) セミナー

- ①災害時の備えについて
- ②過去の災害を知るツール(神城断層地震震災アーカイブの紹介)
- ③震災遺構・アーカイブを活用した取り組み
東北の復興ツーリズム紹介

(4) 課題

- ①ツーリズムMAPの活用方法や追記の提案
- ②アーカイブサイトの感想



“猪の満水” (令和元年東日本台風) 災害デジタルアーカイブ ご紹介



ホーム 令和元年東日本台風デジタルアーカイブ 災害デジタルアーカイブ インタビュー 動画紹介



デジタルアーカイブマップ

マップ

- ・地図で見る災害の記録
- ・写真アーカイブ (アルバム)
- ・資料アーカイブ (行政資料等)
- ・災害アーカイブ展特設サイト (令和2年度、令和3年度)
- ・住民へのインタビュー動画
- ・長野県 阿部知事と信州大学 廣内教授の対談動画
について閲覧が可能です



デジタルアーカイブ画面

山田デジタルアーカイブ (デモサイト用)

0 200 400 m

空間で表示

時制で表示

インタビュー (動画)

水害発生時、被害状況・避難行動

3:29

地図上にインタビュー動画、
写真を表示。クリックして
→いつ・どこで・何が起き
たかについて分かる仕組み

掲載予定: 写真 20,000件程度
インタビュー動画 100件程度
資料 (報告書、記録集など) 100件程度

災害発生時の記録 (動画)

被害発生時、撮影日時: 2020年10月11日、廣内研究室撮影

被害状況、撮影日時: 2019年10月15日、廣内研究室撮影

※画像をクリックすると画像が表示されます。

コンテンツID:01-005-000015

復旧の記録

被災から約3か月後、撮影日時: 2020年1月10日、廣内研究室撮影

アーカイブ事業コンセプト

将来の災害に備えるためには、過去の教訓を遺し、それを継続して世代を超えて学ぶことが必要
デジタルアーカイブとして残していくことが有用

- ⇒ 発災時の写真や記録、被災者インタビュー動画を収集し保存する取り組み
- ⇒ 継続性を持たせるためには「遺す」だけでなく、「活かして学ぶ仕組み」が重要
- ⇒ デジタルコンテンツで効率的に災害記録を残し、地域住民自らがこれを学校教育や生涯学習で学び、更新・活用し続ける自己循環の仕組みを構築する

地域が自ら学び備える “^し猪の満水” (令和元年東日本台風) 災害デジタルアーカイブ

例 1. 防災教育での活用

- ・令和元年東日本台風をはじめ、過去の災害を学ぶ
- ・地域を知る学習での活用(地図のデータベース)
- ・教師や児童・生徒がフィールドワークの成果を自ら入力・更新する
- ・学習成果の積み重ね、検索可能なデータベース
- ・アーカイブから学習成果の情報発信も可能

例 2. 地域防災での活用

- ・助け合いマップや逃げ地図、マイタイムライン等との重ね合わせ表示
- ・地域独自の防災マップ・防災パンフレット等作成支援
- ・地図を活用し生涯学習などを通じた地域防災プログラム開発と試行

例 3. 被災記録を文化資源化して活用する取り組み

- ・地域住民や地域の企業・団体等と連携し、地域防災活動の成果や令和元年東日本台風の記録を含めた過去の災害文化を資源化し活用。復興ツーリズムや看板設置、アーカイブ展や周年事業にも展開



写真アーカイブ画面

救助・復旧の様子

写真アーカイブ

災害調査

被災状況

救助・復旧の様子

- ・位置の特定が難しい写真等はアルバム形式として表示
- ・各地域、時制(被災～復旧～復興)でまとめて表示

資料アーカイブ画面

災害発生時
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省中部地方防災事務所（令和元年10月16日）「令和元年台風19号による被害状況」 長野県庁（令和元年10月16日）「令和元年東日本台風被害状況調査報告書」 長野県庁（令和元年10月16日）「令和元年東日本台風被害状況調査報告書」
復興
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省中部地方防災事務所（令和元年11月10日）「被災地の復興状況調査報告書」 国土交通省中部地方防災事務所（令和元年11月10日）「被災地の復興状況調査報告書」 国土交通省中部地方防災事務所（令和元年11月10日）「被災地の復興状況調査報告書」
復旧
令和元年東日本台風（台風19号）の災害復旧に向けた取組み（長野県）

・行政資料などをダウンロードできるようにしています。
 ・データは災害発生時・復旧・復興に分類。



2021年9月2日 / 長野県阿部町 / 2021年9月2日 / Admin

御代田町（みよた広報やまゆり）令和元年東日本台風町広報誌記事

ダウンロード

ファイルサイズ	2.96 MB
ファイル数	1
投稿日	2021年9月2日
最終更新日時	2021年9月2日

提供：御代田町

二次利用の可否：可

操作ログ 記事発生時、可

アーカイブ展特設サイト画面

<https://chikuma-archive-dev.shinshu-bousai.jp/archive2021/>



災害アーカイブ展～令和元年東日本台風からの復興にむけて～

コンテンツ紹介

1. 令和元年東日本台風による被害状況の把握
2. 被災地の復興アーカイブ制作
3. 災害アーカイブについて
4. 被災地 被災写真
5. 被災地 被災写真
6. 被災地 被災写真
7. 被災地 被災写真
8. 被災地 被災写真
9. 被災地 被災写真
10. 被災地 被災写真
11. 被災地 被災写真
12. 被災地 被災写真
13. 被災地 被災写真
14. 被災地 被災写真
15. 被災地 被災写真
16. 被災地 被災写真

クリックするとPDF表示

“猪の清水”（令和元年東日本台風）災害アーカイブの特徴

・アーカイブサイト公開に合わせた記念対談「長野県 阿部知事と信州大学 廣内教授の対談動画」も掲載。
 ・アーカイブ展での展示物も閲覧可能。



インタビュー画面

- ・様々な立場の人々のインタビューを視聴できます
- ・課題点、教訓を生々の声で残します



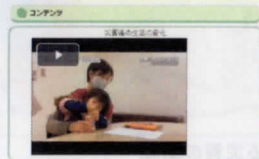
長野市の住民

水害発生時、被害状況・避難行動



子育て世代のお母さん（須坂市）

- 被害状況
- 避難のタイミング
- 子どもの様子
- 災害後の生活の変化
- 今後に向けて



- ・発災時～避難～復旧～復興など時系列でお話をいただきました
- ・トピックごとに視聴可能です



画面でトピックをカスタム

災害対策

災害対策

避難一時避難所として活用
ア）バス、乗客は乗車
避難所、バス、バス
本拠地はバス、バス



災害対策
災害対策
災害対策